

古中マイプロ通信

～地域とともに、自分づくり～

令和6年

7月号

飛騨市立古川中学校

◆6月に実施したマイプロの様子を一部紹介します。



この活動は、認知症について自ら理解し、広く地域に認知症の知識を提供すること、誰もが安心して暮らせるまちづくりに貢献することを目的としています。その活動の一環として、飛騨市が取り組んでいる「オレンジガーデニングプロジェクト」に生徒会も参加しています。みんなで思いを共有し、楽しみながら花を育て、全国各地でオレンジ色の花を咲かせるプロジェクトです。

▲オレンジプロジェクト(生徒会:6/17)



▲職業講話(2年)

(株)ドローンコンシェルジュの代表取締役の山崎裕考さんを講師にお招きし、2年A組で職業講話を行いました。この仕事に就いたきっかけや仕事内容などの話を聞いた後、実際にドローンの操作体験をさせていただきました。



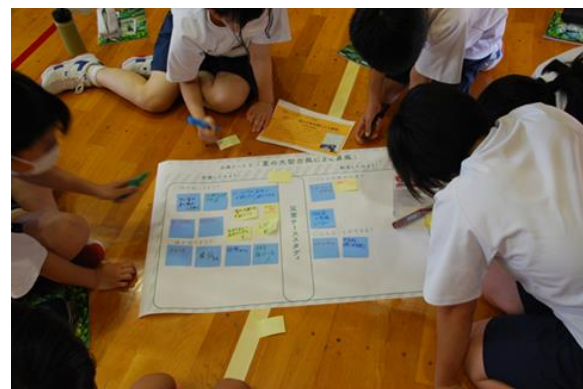
▲ふるさと職業展(2年:6/28)

飛騨市・高山市から44の事業の経営者や従業員の方々に集まっていただき、仕事のやりがいや楽しさなどについて学習しました。2～4名程度の小グループに分かれて、事前に選んだ4カ所のブース回って、熱心に話を聞いたり、質問したりして学びを深めました。



▲防災『風水害24』(1年:5/31)

『風水害24』とは、大規模風水害の接近から直撃・通過までの24時間をリアルに体験することを通じて、風水害発生時に必要な知識を学び、適切な判断や行動ができるような、風水害リテラシーを高めるプログラムです。ファシリテーターの資格をもつ1年生の細川翔大さんも講師として指導にあたってくれました。



▲防災『災害ケーススタディ』(1年:6/14)

2つの「そうぞうりょく」(想像力・創造力)で自分が生き残る&誰一人取り残さない、をテーマに、グループ毎に与えられた災害ケースに対して、自分たちがどのように行動できるか、どんなことが起きうるか、について考えました。